

虚子君へ

夏目漱石

青空文庫

昨日は失敬。こう続けざまに芝居を見るのは私の生涯しょうがいにおいて未曾有みぞうの珍象ですが、私が、私に固有な因循いんじゆん極まる在来の軌道をぐれ出して、ちよつとでも陽気な御交際おつきあいをするのは全くあなたのせいですよ。それにも飽き足らず、この上相撲すもうへ連れて行って、それから招魂社の能へ誘うと云うんだから、あなたは偉い。実際善人か悪人か分らない。

私は妙な性質たぢで、寄席興行よせその他娯楽を目的とする場所へ行つて坐つてしていると、その間に一種荒涼な感じが起るんです。左右前後の綺羅きらが頭の中へ反映して、心理学にいわゆる反照聯想はんしょうれんそうを起すためかとも思いますが、全くそうでもないらしいです。あんな場所で

周囲の人の顔や様子を見てみると、みんな浮いて見えます。男でも女でもさも得意です。

その時ふとこの顔とこの様子から、自分の住む現在の社会が成立しているのだという考がどこからか出て来て急に不安になるのです。そうして早々自分の穴へ帰りたくなるんです。

そのときはまだ好いが、次にきつと自分も人から見れば、やっぱり浮いた顔をして、得意な調子をふりまわしているんだらうと気がつくのです。そうするといかにも自分に対して面目なくなりません。その次には、自分の浮気や得意はこの場限りで、もう少しすると平生の我に帰るのだが、ほかの人ののは、これが常態であつて、家へ帰つても、職務に従事し

ても、あれでやっているんだと己惚うぬぼれます。すると自分はどうしてもここにいるべきではないとなる。宅うちへ帰って、一二時間黙坐して見たいなんて気が起ります。

そのくせ周囲の空気には名状すべからざる派出はでな刺激があつて、一方からいうと前後を忘れ、自我を没して、この派出な刺激を痛切に味いたいのだから困ります。その意味からいうと、美々しい女や華きゃしゃ奢しやな男が、天地神明を忘れて、当面の春色に酔つて、優越な都会人種をもつて任ずる様や、あるいは天下をわがもの顔に得意にふるまうのが羨うらやましいのです。そうかと云つてこの人造世界に向つて猪ちよしん進する勇氣は無論ないです。年来の生活状態からして、私は始しじゆう終山の手たげやぶの竹藪の中へ招かれています。のみならず、この竹藪や書物のなかに、まるで趣の違つた菓を食つて生きて来たのです。その方が私の性しように合あう。それから直接に官能に訴える人巧的な刺激を除くと、この菓の方が遥はるかに意義があるように思われるんだから、四辺の空気に快たんできよく耽溺する事ができないで迷まよつちまいます。こんな中ちゆうごし腰こしの態度で、芝居を見物する原因は複雑のようですが、その五割乃至七割ないしは舞台で演ずる劇そのものに帰着するのもかも知れません。あの劇がね、私の菓の中の世界とはまるで別物で、しかもあまり上等でないからだろうと思ふんです。こう云うと、役者や見物を一概に罵倒するようであるから、ちよつと説明します。

この間帝国座の二宮君が来て、あなたの明治座の所感と云うものを読んだが、我々の神経は痲痺まひしているせいだか何だかあなたの口にするような非難はどうてい持ち出す余地がない、芝居になれたものの眼から見ると、筋なぞはどんなに無理だつて、妙だつて、まるで忘れて見ていますと云いました。なるほどそれが僕の素人しろうとであるところかも知れないと答えたようなものの、私は二宮君にこんな事を反問しました。僕は芝居は分らないが小説は君よりも分つている。その僕が小説を読んで、第一に感ずるのは大体の筋すなわち構造である。筋なんかどうでも、局部に面白い所があれば構わないと云う気にはとてもなれない。したがつて僕がいかほど芝居通になつたところで、全然君と同じ観察点に立つて、芝居を見得るかどうだか疑問であるが、その辺はどうだろう。——話は要領を得ずにするでしまつたが、私にはヤツぱり構造、譬たとえば波瀾はらん、衝突から起る因果いんがとか、この因果と、あの因果の関係とか云うものが第一番に眼につくんです。ところがそれがあんまり善くよできていないじゃありませんか。あるものは私の理性を愚弄ぐろうするために作つたと思われませんか。太功記たいこうきなどは全くそうだ。あるものは平板のべつ、のつぺらぼうでしょう。楠くすのとかいうのは、誰が見たつてのつぺらぼうに違ちがない。あるものに至つては、私の人情を傷きずつつけようと思つて故意に残酷こしちやうに拵こしらえさしたと思われるくらいです。きられ与三郎の——そう、

もつともこれは純然たる筋じやないが、まあ残酷なところがゆすりの原因になっているでしょう。

生涯の大勢は構わないその日その日を面白く暮して行けば好いという人があるように、芝居も大体の構造なんか眼中におく必要がない、局部局部を断片的に賞翫すればよいという説——二宮君のような説ですが、まあその説に同意してみたらどんなものでしょう。

それでも賞翫はできませんが、それを賞翫するに、局部の内容を賞翫するのと、その内容を発現するために用うる役者の芸を賞翫するのと、ほとんど内容を離れた、内容の発現には比較的効能のない役者の芸を賞翫するのと三つあるようですね。

こうなつても芝居の好きな人は、やっぱり内容に重きをおいていないようじやありませんか。お富が海へ飛び込むところなどは内容として、私には見るに堪えない。演り方が旨いとか下手いとか云う芸術上の鑑賞の余地がないくらい厭です。中村不折が隣りにいて、あるとき芸術上の批評を加えていたのを聞いて実に意外に思いました。ところが芝居の好きな人には私の厭だと思ふところはいつこう応えないように見えますがどうでしょう。

光秀が妹から刀を受取つて一人で引込むところは、内容として不都合がない。だから芸

術上の上手下手を云う余地があつたのです。あすこはあなたがたも旨いと云つた。私も旨いと思います。ただし、あすこの芸術は内容を発現するための芸術でしょう。

第三の、内容とは比較的関係のない芸術になると、妙ですな。内容を賞翫して好いんだか、芸術を賞翫して好いんだか分かりません。十段目に、初菊が、あんまり聞えぬ光よし様とか何とかいうところで品しなをしていると、私の隣の柀ますにいた御婆さんが誠実に泣いてたには感心しました。あのくらい単純な内容で泣ける人が今の世にもあるかと思つたらありがたかつた。我々はもつとずつと、擦すれてるから始末が悪い。と云つてあすこがつまらないんじゃない。かなり面白かつた。けれどもその面白味はあの初菊という女の胴や手が蛇へびのように三味線につれて、ひなひなするから面白かつたんで、人情の発現として泣りくら了う簡かんは毛頭もうとうなかつたんです。この点において私と芝居通の諸君と一致しているかどうか伺います。御婆さんに賛成なさるか、私に同意なさるかで事はきまります。

忘れしました。局部内容発現の芸術でもつとも旨かつたのは蝙蝠こうもり安やすですな。あれは旨い。本当にできてる。ゆすりをした経験のある男が正業について役者になつたんでなければ、ああは行くまいと思ひました。顔もごろつきそうな顔でしょう。あれが髭ひげを生はやして狩かりぎ衣ぬを着て楠正成の家来になつてたから驚いた。

次に内容と全く独立した。と云うより内容のない芸術がありますが、あれは私にも少々分る。鷺娘さぎむすめがむやみに踊ったり、それから吉原仲の町なかちようへ男性、中性、女性の三性が出て来て各々おのおの特色を發揮する運動をやったりするのはいいですね。運動術としては男性が一番旨うまいんだそうですが、私はあの女性が好きだ、好い恰好かつこうをしているじゃありませんか。それに色彩が好い。

色彩は私には大変な影響を及ぼします。太功たいこう記の色彩などははなはだ不調和極まっています。加藤清正かとうけいせいが金釦きんぼたんのシャツを着ていましたが、おかしかったですよ。光秀のうちは長屋ですな。あの中にあんな綺麗きれいな着物を着た御嫁さんなんかがいるんだから、もつたいない。光秀はなぜ百姓みたように竹槍たけやりを製造するんですか。木更津きさらぎ汐干しほひの場の色彩はごちやごちやして一見いけん厭いやになりました。御成おなり街道かいどうにペンキ屋の長い看板があるから見て、御覽ごらんなさい。

楠一族の色彩ははなはだよろしい。第一調和しているようです。正成の細君は品があつてよござんす、あの子も好い。みんな好い色だ。

私の厭すきなところと、好すきなところを性質から區別して並べて御覽に入れました。これで私が芝居を見ている時の順慶流の氣持が少し説明ができたつもりですが、まだこのほかにも

なかなかあります。それは他日御面会の節に譲ります。不折は男性、女性、中性を見ずに
帰りましたね。不折は奴^{やつこ}的^{てき}の画が好きなんだろうと思います。凡鳥君によろしく。以
上。

六月十二日

青空文庫情報

底本：「夏目漱石全集10」ちくま文庫、筑摩書房

1988（昭和63）年7月26日第1刷発行

底本の親本：「筑摩全集類聚版夏目漱石全集」筑摩書房

1971（昭和46）年4月～1972（昭和47）年1月にかけて刊行

入力：柴田卓治

校正：大野晋

1999年6月14日公開

2003年11月28日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

虚子君へ

夏目漱石

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>